

湖 危 第 4 5 号
令和 5 年(2023 年)4 月 13 日

行政事務学区統括委員 様
行政事務取扱委員 様

湖南市長 生 田 邦 夫

防火・防災訓練の実施に伴う事前報告書等の提出について（依頼）

平素は、本市消防防災行政にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、近年防災意識がより一層高まる中で市内各地域においても共助の取組みとして防火・防災訓練を積極的に実施いただいております。

一方で全国的に見れば訓練実施中における事故等も発生していることなどから、訓練計画の策定には安全に対する配慮が欠かせません。

市では、万が一の事故等に備えて「防火防災訓練災害補償等共済制度」に加入しておりますので、防火・防災訓練を実施される場合は、別紙様式にて実施内容を記入の上、事前に危機管理・防災課まで提出していただきますようお願いいたします。

問い合わせ先

湖南市危機管理局危機管理・防災課

担当 井上、島田

TEL : 0748-71-2311

FAX : 0748-72-2000

Mail : kikikanri@city.shiga-konan.lg.jp

防火・防災訓練実施事前報告書

年 月 日

湖南省長 様

責任者 氏 名 _____

住 所 _____

連絡先 _____

下記のとおり訓練を実施しますので下記のとおり報告します。

記

1. 日時 _____ 年 月 日 () _____ 時 分 ~ _____ 時 分

2. 場所 _____

※訓練周辺地図を添付してください

3. 参加者

- 区民
- ふるさと防災チーム
- 消防団員
- 消防署員
- その他 (_____) 総参加者数(予定) _____ 名

4. 訓練概要

消火栓使用許可申請書

年 月 日

湖南省長 様

住 所 湖南省

申請者 団体名

代表者

印

下記のとおり消火栓の使用許可を受けたいので申請します。

記

使用目的		
使用日時	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分	
使用場所	湖南省 番地 (別添地図のとおり)	
責任者	住所	湖南省
	氏名	
	電話	
備考		

(申請手続上の注意事項)

- 1 消火栓の使用目的は、原則として消防・防災訓練とします。
- 2 使用の際は、消防団員または消防署員の立会のもと行ってください。
- 3 使用場所については、使用消火栓を明示した地図を添付してください。
- 4 本申請書は、消火栓使用予定日の概ね30日前にはご提出ください。
- 5 消防団員に立会を依頼される場合は、班長以上の階級の方の承諾を得てください。

消防団員・消防署員確認欄

上記の消火栓使用の際に、立ち会うことを承諾します。

氏名 _____ 印 (消防団員・消防署員)

※消防団員の場合は班長以上の者の承諾

消火栓不具合等報告書

年 月 日

湖南市長 様

報告者 氏 名 _____

住 所 _____

電 話 _____

下記のとおり消火栓の不具合について報告します。

記

・場所 _____ 湖南省

※ 消火栓の位置がわかる資料を添付してください。

【不具合の内容】

【対処法等】

消火栓不具合等報告書（記入例）

令和3年4月1日

湖南市長 様

報告者 氏名 湖南市消防団 団長

住 所 湖南市中央一丁目1番地

電 話 0748-71-2311

下記のとおり消火栓の不具合について報告します。

記

・場所 湖南市石部中央一丁目1番1号

※ 消火栓の位置がわかる資料を添付してください。

【不具合の内容】

令和3年3月31日に当該区で消火栓を用いた消火訓練を実施した際に、別紙に示した

消火栓蓋の塗料が経年劣化等により剥がれていることを確認しました。

※場所等は別紙のとおり（消火栓の位置がわかる資料を添付）

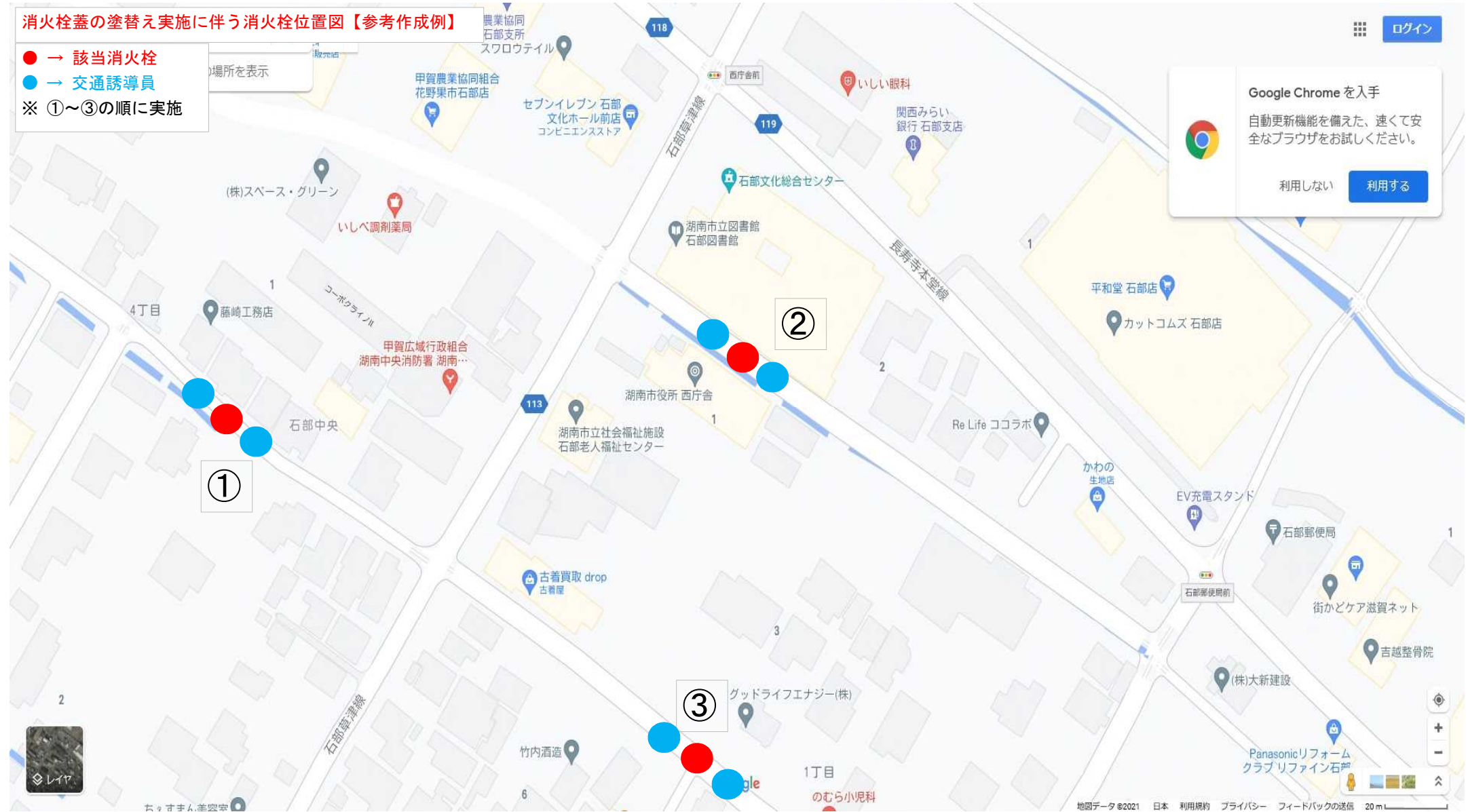
【対処法等】

消防団にて、別紙留意事項を順守し、当該消火栓の蓋を塗り替えることとします。

なお、実施場所が市道上のため、安全確保の観点から、交通誘導員を配置します。

消火栓蓋の塗替え実施に伴う消火栓位置図【参考作成例】

- → 該当消火栓
- → 交通誘導員
- ※ ①～③の順に実施



【消火栓に関する留意事項】

消火栓の使用等について、留意すべき事項を下記のとおり示しますので、責任者は必ず一読し、内容について確認してください。

【放水訓練を実施する際の報告の流れ】

	内 容	備 考
1	『消火栓使用許可申請書』を取得する。 ○市役所東庁舎2階 危機管理・防災課執務室 ○市ホームページからダウンロード	様式データ格納場所（市ホームページ） ①（便利なサービス）申請書ダウンロード ②消防・防災 ③消防用設備 ※①～③の順に検索してください。
2	申請書様式に必要事項を記入する。	消火栓の位置がわかる資料を添付してください。
3	（放水を伴う訓練をする場合） 地域の消防団（班長以上）に相談し、現場立会の承諾を得て、申請書に記名いただく。	
4	申請書、消火栓位置図等を危機管理・防災課に提出する。 ※ 消火栓位置図の準備が難しい場合は、申請書提出時にご相談ください。	許可書発行まで1～2週間必要です。
5	危機管理・防災課から許可書等が郵送される。	申請書の【責任者様】の住所に郵送します。

【消火栓に不具合が生じた際の報告の流れ】

	内 容	備 考
1	区・消防団が、点検等実施の際に、消火栓の不具合を発見	【主な不具合事項】 ①消火栓蓋が開かない ②消火栓の水が止まらない ③消火栓の水が出ない ④消火栓蓋の塗料が剥がれている
2	『消火栓不具合報告書』を取得する。 ○市役所東庁舎2階 危機管理・防災課執務室 ○市ホームページからダウンロード	様式データ格納場所（市ホームページ） ①（便利なサービス）申請書ダウンロード ②消防・防災 ③消防用設備 ※①～③の順に検索してください。
3	報告書様式に必要事項を記入する。	消火栓の位置がわかる資料を添付してください。
4	報告書、消火栓位置図等を危機管理・防災課に提出する。 ※ 消火栓位置図の準備が難しい場合は、申請書提出時にご相談ください。	※消火栓蓋の塗替えの場合 甲賀警察署に『道路使用許可申請』を行いますので、当該許可書が発行されるまでは、実施しないでください。
5	危機管理・防災課から当該許可書（写）が郵送される。	申請書の【責任者様】の住所に郵送します。

【留意事項】

(放水訓練の場合)

- ① 放水訓練を実施する場合、放水圧により怪我等しないよう必ず消防団員の指示に従い行動してください。
- ② 消火栓バルブを解放する際、急に全開で解放すると、水道管内のサビ等が自宅の水道管に流入する可能性があるため、少しずつゆっくりと開放してください。
- ③ 放水訓練後は、消火栓バルブをしっかりと閉めてください。
- ④ 使用した消火栓に不備等があれば別紙報告書にて、危機管理・防災課まで連絡してください。

(消火栓蓋塗替えの場合)

- ① 塗替え実施時に使用するペンキ等について、法令上、色や材質等明確な基準はありませんが、速乾性や視認性を考慮し、別紙参考書類にある製品の使用を推奨します。
- ② 塗替え実施後、ペンキ等が完全に乾くまでは、現場から離れないでください。
- ③ 道路上に設置されている消火栓蓋の塗替えを実施する際は、安全管理のため交通誘導員を配置してください。

※ ただし、あまりにも交通量が多い場所（国道や県道）の場合は、危機管理・防災課へ相談してください。

- ④ 『道路使用許可申請書』は危機管理・防災課が準備します。

駐車場・工場等の区分線用塗料

ハードライン[®]C-500 速乾



かすれた白線が…



鮮やかによみがえりました！
(駐車面にフロアトップ#1000 速乾 スカイブルーを施工)

ハードラインC-500 速乾は、特殊変性アルキド樹脂を主成分とした常温型の路面標示用塗料です。乾燥が速く、路面との付着性・耐久性にも優れた性能を発揮し、駐車場等の区分線に最適です。

特長

■優れた速乾性

乾燥がきわめて速く(気温 23°C・15分)、スピーディに交通開放ができます。

■耐久性が抜群

車の重圧、タイヤによる摩耗に長期間耐えます。

■無鉛化で環境にやさしく

鉛やクロムなどの重金属を含んでいません。

- 作業性が良好：塗りやすく、初めての方でも簡単に塗れます。
- 鮮やかなライン：鮮やかな色なので、明確な区分線が引けます。



用途

- ①駐車場の区分線
- ②工場等の通行区分線
- ③倉庫・商店等の在庫区分線

(一社)日本塗料工業会登録		消防法：
登録番号	A 03092	第四類第一石油類・
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆	危険等級Ⅱ・ 火気厳禁

容量・荷姿・塗りm数・塗り回数・色

製品名	容量(荷姿)	塗りm数(缶)/塗り回数	標準色
ハードラインC-500 速乾	20kg(石油缶) 4kg(丸缶)※	15cm幅で 190~270m/2回 15cm幅で 38~53m/2回	白、黄(無鉛) < 道路標示黄色 日産工H15-60V近似色 > (各色つや消し)
ガラスビーズ (JIS R 3301 1号)	25kg(石油缶)	ガラスビーズ散布量/1回 15cm幅で 24~40g/mの散布が適量です	—

■夜間視認性の向上
塗料を塗りながらガラスビーズを塗膜の上に散布することで、夜間反射性が良くなります。

※4kgはケースでの販売となります(1ケース4缶入り)

<コンクリート面用プライマー>
#800 プライマー(二液エポキシ樹脂塗料)：16kgセット(主剤8kg、硬化剤8kg)/15cm幅で約530m
6kgセット(主剤3kg、硬化剤3kg)/15cm幅で約200m

施工仕様例

1. アスファルト面

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg / m ²)	塗装間隔 (時間 / 23°C)	施工要領
1 下地処理	—	—	—	—	—	泥や砂、ゴミ、ホコリ、油等をきれいに除去してください。 下地を十分に乾燥させてください。 基準線に沿って布粘着テープで均一にマスキングしてください。
2 上塗り①	ハードライン C-500 速乾	—	—	0.30 ~ 0.40	0.5 以上	ローラーばけにたっぷり含ませ、基準線に沿って均一に塗装してください。※
3 上塗り②	ハードライン C-500 速乾	—	—	0.20 ~ 0.30	—	前工程と同じ

■新しいアスファルト面にハードライン C-500 速乾を塗装すると、塗料の中に入っているシンナーがアスファルトを溶かして、にじみ(ブリード)を生じることがあります。その場合、下塗りを十分に乾燥させてから、上塗りを行ってください。

2. コンクリート面

工程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg / m ²)	塗装間隔 (時間 / 23°C)	施工要領
1 下地処理	—	—	—	—	—	泥や砂、ゴミ、ホコリ、油等をきれいに除去してください。 下地を十分に乾燥させてください。 基準線に沿って布粘着テープで均一にマスキングしてください。
2 下塗り	#800 プライマー	—	—	0.20	2 ~ 6	主剤：硬化剤=1：1(重量比)で混合攪拌し、ローラーばけで塗装してください。
3 上塗り①	ハードライン C-500 速乾	—	—	0.30 ~ 0.40	0.5 以上	ローラーばけにたっぷり含ませ、基準線に沿って均一に塗装してください。※
4 上塗り②	ハードライン C-500 速乾	—	—	0.20 ~ 0.30	—	前工程と同じ

■#800 プライマーは、一般コンクリートに対して強力な接着力を発揮する二液型のエポキシ樹脂塗料です。

主剤と硬化剤を1：1(重量比)の割合で混合し、5時間(気温23°C)以内に塗装してください。混合後、5時間以上経過したものは付着不良を生じることがあるので使用しないでください。プライマーと上塗り塗装間隔は2～6時間です。当日中にハードライン C-500 速乾を塗装してください。塗装間隔があいた場合は、サンディング後、再度 #800 プライマーを塗装してください。

また、下塗りの #800 プライマーは必ず規定量を塗布してください。塗布量が不十分だとハードライン C-500 速乾のワレやハガレの原因となります。

※ローラーばけを強く地面に押しつけて塗装すると規定以上の幅になったり、塗りムラがでたりするので、最初は軽くローラーばけを押し、塗料が減少していく度合いを見ながら少しずつ力を加えて均一に塗ってください。

●新設のアスファルト面における注意

施工面に油分が付着している場合、塗料の付着が悪くなりますので、中性洗剤で除去し水洗いした後、完全に乾かしてください。

●新設のコンクリート面における注意

新しいコンクリートは打設後1ヶ月以上の養生期間をとり、#60程度のサンドペーパーで表面のエフロ、レイタンス等の脆弱層を削ってください。

注意事項

- ハードライン C-500 速乾は、通常無希釈で塗装してください。
夏期炎天下時での施工の場合、塗料中の溶剤の揮発が速いため、作業性が劣ることがあります。この場合、揮発した溶剤を補うため、塗料用シンナー A を最小限(10%以下)加えて充分攪拌してください。希釈量が多すぎるとアスファルト面ではブリード(にじみ)が生じやすくなります。
- アスファルトの塗装の際、同一場所を何度もこすると塗料中の溶剤がアスファルトを溶かしてブリード(にじみ)を起こしやすくなりますので避けてください。
- 上記の乾燥時間、塗布量等は塗装条件によって若干の差を生じる場合があります。
※夏期炎天下等での塗装の場合、乾燥が速くなり、作業性、塗布量等が変化することがあります。
※アスファルト面では、下地の状態によって塗布量が大きく変化することがあります。
※乾燥時間は風の影響で大きく変化します。
- 洗剤用、はみ出した塗料を落とす際には、合成シンナー No. 2 または塗料用シンナー A をご使用ください。
- 気温が5°C以下の日、湿度が85%以上のときには塗装を避けてください。
- 強化コンクリートおよび緻密なコンクリートの場合は強化コンクリート用プライマーをご使用ください。
- 路面標示用塗料の塗り替え以外、他の塗料の上には塗れません。
- ライン(区分線)専用の塗料です。面では塗装しないでください。屋内に使用した場合、使用状況により汚れることがあります。
- 厚塗りした場合、乾燥が遅れる場合があります。

全般的注意

- 製品ご使用の際には、当販促物のほか、製品本体記載の注意事項および SDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 改良等のため、①製品の中身・仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。また、ご使用方法等につきましてご不明の点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

アトムクス株式会社 塗料事業部

〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03(3969)3125(直通) FAX.03(3968)7300 <http://www.atomix.co.jp>



■本社 TEL.03(3969)3111(代) FAX.03(3968)7300	■横浜営業所 TEL.045(943)8911 FAX.045(943)8912
■加須受注センター TEL.0480(65)1154 FAX.0480(65)6909	■名古屋営業所 TEL.052(914)3900 FAX.052(916)0892
■大阪支店 TEL.072(872)3111 FAX.072(872)1222	■広島営業所 TEL.082(845)2202 FAX.082(845)2203
■仙台営業所 TEL.022(249)7371 FAX.022(249)7372	■福岡営業所 TEL.092(503)5200 FAX.092(503)5308
■新潟営業所 TEL.025(244)8011 FAX.025(244)8012	■加須工場 TEL.0480(65)1159 FAX.0480(65)7146

同報系屋外拡声子局使用届

湖南省長

様

届出者 団体名
代表者住所
代表者氏名
電話番号

同報系屋外拡声子局を単独放送に使用したいので、湖南省防災行政無線局(同報系)管理運用に関する規程を遵守し、使用することを確約し届出します。

記

使用予定日時	<input type="checkbox"/> 緊急 <input type="checkbox"/> 年 月 日() 時 分		
使用目的	<input type="checkbox"/> 防災訓練 <input type="checkbox"/> その他()		
放送設備の使用	屋外受信拡声子局		
放送の内訳	放送先	(NO.)の子局からの単独放送	
	放送内容	(発信者) _____から (受信者) _____にお知らせします。 (本文) (本文は2回繰り返す) 以上、 _____ からの通報を終わります。	
サイレンの使用	<input type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない		
備考			
無線管理担当課 処理欄			
受付	年 月 日	時 分	受付者

放送については、下記の注意事項を厳守してください。

- 1 当該使用届出後、放送した場合における周辺自治会及び地域住民の対応は、届出をした単独放送者が責任を持って行ってください。
- 2 日頃から当該設備の適正な管理に努めてください。なお、故障を発見した場合は、直ちに報告してください。
- 3 単独放送ができる者は、使用届出をした団体の代表者となります。なお、緊急その他やむを得ない事情がある場合は、単独放送者の責任において、単独放送者から委任された者が放送することができます。